

県立玉造工業高等学校【総合的な探究の時間計画】（令和8年度）

学校の教育目標

<p>(1) ICT を効果的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善を推進することで、基礎学力の定着と専門的知識・技能の向上を図る。</p> <p>(2) 基本的生活習慣の確立と自律的な規範意識の育成を図るとともに、自他の命を守る交通安全教育の推進に努める。</p> <p>(3) 体系的なキャリア教育を展開し、社会を支える人材としての勤労観・職業観の育成を図る。</p> <p>(4) 学校行事の充実や、部活動及び奉仕体験活動の活発化をとおして、他者と協働する姿勢や豊かな人間性の育成を図る。</p> <p>(5) 中学校や地域社会、産業界等との連携を深め、「社会に開かれた教育課程」の実現と開かれた学校づくりに努める。</p> <p>(6) 実習等を含めた安全で衛生的な教育環境づくりを目指し、生徒が心身ともに健やかに学校生活を送れるように努める。</p> <p>(7) 教職員の働き方改革の実現に向け、ICT の活用等による校務の改善・簡素化や、学校行事の見直し等に努める。</p> <p>(8) 「キャリアパスポート」を有効に活用し、生徒の主体的な学びとキャリア形成を支援する。</p> <p>(9) 育成を目指す資質・能力を生徒と共有し、ICT の活用と「主体的・対話的で深い学び」の視点に基づく授業改善に学校全体で取り組み、確かな学力を育成する。</p>
--

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
<p>探究の見方・考え方を働かせ、工業の果たす役割を総合的に捉えながら、自らの在り方・生き方について考察するとともに、他者を尊重し、協働して課題を解決する力を育成する。</p>	<p>ワークシートや振り返りシートを活用し、課題への取り組み状況や思考の深まりを評価する。</p> <p>発表資料の内容および発表方法（構成・表現・態度）を総合的に評価する。</p> <p>振り返り活動をとおして、目標に対する達成度や自己の成長を評価する。</p> <p>学習活動への主体性・協働性などの過程を継続的に評価する。</p>	<p>個々の実態に応じて課題の内容や分量を調整する。</p> <p>グループ活動において役割を明確にし、参加しやすい環境を整える。</p> <p>ICT 機器や視覚的資料を活用し、理解を支援する。</p> <p>教員による個別指導や声かけを適宜行い、学習の見通しを持たせる。</p> <p>振り返り活動をとおして自己理解を促し、成功体験を積ませる。</p>

各学年における主な取組内容

「総合的な探究の時間」を課題研究等で代替している場合の科目名（課題研究）

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1年	<p>グループ内で他人の考えを聞き、課題について話し合う。</p> <p>進路講話をとおして、進路希望実現に向けての高校生活のあり方や、企業や進学先がどのような人材を求めているのかなどについて、グループで話し合う。</p> <p>話し合った課題についてインターネット等を利用して調べ学習を行い、集めた情報をグループ内で分析する。</p> <p>調査、分析、発表を行うことで自己受容と他者受容する姿勢を身に付け、共感することで自己肯定感を養う。</p>	<p>近隣企業との連携（進路講話・企業見学等）</p> <p>キャリア教育の推進（進路ガイダンス等の企画）</p>	<p>授業や家庭学習など学習習慣の確立した生徒</p> <p>真剣に授業に取り組む生徒</p> <p>基本的生活習慣を確立した遅刻、欠席の少ない生徒</p> <p>将来の目的意識を持ち、自ら進路に向かい努力する生徒</p>
2年	実施しない		
3年 課題研究	<p>研究や製作の過程で課題を発見し、独自または協働による解決策を探究する。</p> <p>工夫・改善を重ねながら、研究・製作の目標達成を目指す。</p>	<p>近隣企業との連携（企業実習等）</p> <p>キャリア教育の推進（生徒研究発表会等）</p>	<p>各科目で学んだ知識・技術を研究テーマと関連付けて理解し、主体的に活用できる生徒</p> <p>課題解決に向けて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができる生徒</p> <p>研究テーマの達成に向けて課題を見出し、解決方法を考え、実行できる生徒</p> <p>研究の過程を振り返り、内容を整理して要点をまとめ、分かりやすく発表できる生徒</p> <p>他者の発表から多様な視点や考え方を学び、自身の学びに生かすことができる生徒</p>